

# こころネット通信 第5号

発行者:NPO 法人こころネットワーク県南 〒969-0101 福島県西白河郡泉崎村泉崎字下根岸 9

生活支援センター「こころん」 TEL: 0248-54-1115 FAX: 0248-53-3063

Email: [kokoron@r2.dion.ne.jp](mailto:kokoron@r2.dion.ne.jp)

## ごあいさつ

NPO 法人こころネットワーク県南

理事長 関 元 行



木々は春に備え、新しい芽を宿し色づき始めました。皆様方には、御清適、御精勤の事と拝察いたします。

昨年一時期、支援センターの設立は断念せざるを得ないかと意気消沈していましたが、急転直下、現在の「こころん」ができる運びとなり、法人にかかわる全員が胸を撫で下ろしました。

齋藤雄一前理事長には、その間、献身的お仕事ぶりで、感謝この上ないものがあると痛感いたします。センター設立が御自分の役目とお考えでいらった御様子で、御留遺を願ったところですが、辞意固くお引止めすることが叶いませんでした。左様な仕儀の中、小生が大役を拝命することになりました。何卒、御指導、御鞭撻の程、お願い申し上げます。

開設以来、こころんの利用者は、日増し月ごとに増加の一途であり、泉崎村を始めとする県南各市町村や関係機関等からの御協力を得て、この地が精神障がい者生活支援の場として、周囲に向けて極めて貴重な発信地となりつつあることに一種の感慨を覚えます。

家族会も含め、県南全域にわたる種々の方々によって支えられ、まだ動き出したばかりではありますが、更にさまざまな展望をもって、地域に根ざした運用がされていくものと察します。

皆様方の倍旧の御支援、御協力を申し上げます。

平成十六年十月吉日



# ワンコインサポーターズ夢の語り部参加

8月21日(土)ユラックス熱海(郡山市)にてオフィスうつくしま1周年記念事業として「うつくしま夢の語り部」が開催されました。県内で活躍されている各地域・各界の発表者に夢を語ってもらい賛同した来場者が一番応援したい・共感した方に1コイン(500円)寄付投票するというもので、こころんもこれに参加しました。スタッフ田崎昭彦が「精神障害者は地域活性化の起爆剤」と題し、3分という短時間の中で、熱意を込めながら力強い訴えをしました。

投票結果は、「結いの村づくり」を語った泉崎村長小林日出夫氏と同位の2位で、37コインで18,500円の収入を得ることができました。ご声援いただきました皆様ありがとうございました。



## 精神障がい者が地域活性化の起爆剤になる!

(夢の語り部発表より:田崎昭彦)

2014年8月21日 今朝「こころんモデル」を見学に福祉先進国スウェーデンから40名が到着しました。

これまで精神障がい者は考えすぎて人付き合いが下手だったり、突然会社を辞めてしまうので、積極的に採用する会社はあまり有りませんでした。

しかし、コンサートや勉強会などこころんの地域交流事業に協力的なA社が彼らを採用しました。すると不思議なことにA社の業績が次第に上がり始めました。

社長いわく、「彼らは、思いやりがあつて真面目だから、コミュニケーションがうまくいけば十分やっています。職場環境を整えれば、障がいの有無に関わらず社員全員の財産にもなります。今では、アイデアや意見が面白いようにポンポン出てくるんですよ。それが業績向上のきっかけですね。うちでは彼らを、KM=コミュニケーション・メーカーと呼んでるんですよ。」

このことを就労プログラム化した「こころんモデル」を多くの事業所が取り入れました。地元の事業者と一緒にカンのリサイクル、クレープ屋、コンサート、バザー、そして「うつくしま夢の語り部」の資金で、農業、畜産業、レストランなど展開しました。

農業では、安心して食べられる野菜作りを目指しました。彼らは、頑張りすぎるのができません。しかし、その分ゆっくりと丁寧に育てるので癒し系のおいしい野菜ができました。口コミで飛ぶように売られています。

収穫した豆から作る納豆・味噌・しょうゆ、それからナスやキュウリの漬物なども人気があります。また、家畜などからソーセージ・チーズ・ヨーグルトなども作り、生産が間に合わないくらいです。

それらの食材を使った「レストランこころん」も大変な人気です。

事業所が彼らを雇用し、収益が上がり、地域経済も活性化する。そんな取り組みに世界も注目し始めました。

皆さん、どうぞ10年後の彼らの活躍にご期待ください。

「レストランこころん」で皆さんと再び、夢を語りあえる日を楽しみにしています。



# 第1回こころんまつり

- 日時 平成16年11月20日(土) 午前10時より
- 場所 生活支援センターこころん(泉崎村下根岸9)
- 内容
  - ▼バザー ▼即売会(野菜・味噌・漬物・自主製品)
  - ▼パネル展示 ▼絵画展示即売 ▼お茶会
  - ▼作業所自主製品販売 →(管内作業所等の自主製品販売)
  - ▼模擬店 →(ソバ打ち→小林泉崎村長が打ちます。  
クレープ・おでん・焼きソバ・栗おこわ  
トン汁・甘酒・コーヒー)
  - ▼キッズコーナー →(わたあめ・バンブー楽器組み立て等)
  - ▼医療相談コーナー →(こころの相談をお受けいたします。ご利用下さい。)
  - ▼アトラクション →(うつくしまバンブーオーケストラ・和太鼓・腹話術・民話語り部等)



**バザー品募集** こころんまつりのバザー品を募集しています。

皆様のご協力をお願いいたします。

**ボランティア募集** お手伝いいただけるボランティアを募集しています。

支援センターこころん(0248-54-1115)までご連絡下さい。

**安心** が1つ増えました!

**便利さ** が1つ増えました!

## 防災訓練

8月24日、矢吹消防署泉崎中島分署にご協力いただき当日の利用者・職員全員で通報・避難訓練・消火訓練等の総合防災訓練を実施しました。訓練とは言え、皆真剣な眼差しと機敏な行動で訓練に臨みました。

訓練後、署員より防災機器取扱説明いと管内での火災状況等の講話があり、日頃からの災害に対する意識付けを改めて認識しました。「備えあれば憂い無し」という言葉が身に染みて感じられたひとときでした。

## 空き缶用洗浄タンクが設置



前月号でお知らせいたしましたこころん事業の一つである「みんないいカン係」→空き缶回収で、9月5日にある利用者のご家族から空き缶洗浄用タンクの寄贈と設備の取り付けをしていただきました。これで清潔な環境中での空き缶の回収作業が可能となり、利用者・スタッフ共に喜んでいきます。

お忙しい中、取り付けまでしていただきましたご家





# 支援センターこころん利用状況

(平成16年9月30日現在)

◇利用登録者 43名 (♥男性29名 ♡女性14名)

◇センター利用者

◇見学等来訪者

6月	7月	8月	9月	累計
182	144	192	186	704
人	人	人	人	人

6月	7月	8月	9月	累計
97	147	100	97	441
人	人	人	人	人

◇相談件数

	電話	面接	訪問	その他	累計
6月	6	32	3	2	43
7月	21	45	5	2	73
8月	36	52	5	4	97
9月	27	39	14	6	86

## A作おじさん・Qちゃんコーナー

今日は、精神障害者保健福祉手帳について教えてね？



おじさん・Qちゃん



### ◇ 申請方法は？

- ・ 問い合わせや申請は住んでいる役場にします。
- ・ 本人が申請するが、家族や関係者が代行することもできるよ。
- ・ 申請に必要な書類は？
  - ① 精神障害者保健福祉手帳申請書(用紙は役場にありますが)
  - ② 診断書(初診から6ヶ月以上経過したもの)
  - ③ 年金を受けている方は年金証書の写し

### ◇どの程度の方が受けられるの？

- 1級→日常生活を送ることが困難な方
- 2級→他人の援助や助言がないと日常生活がうまく過ごせない方
- 3級→ほぼ生活は自立しているが、ストレスがかかると不安定になる方

### ◇受けられるサービスは？

- ① 所得税などの控除や住民税などの一部非課税
- ② 生活保護を受けている方は障害者加算が受けられます
- ③ 通院医療費公費負担を申請するときに診断書がいりません
- ④ 県内のバス半額、公共施設利用減免

などがあるんだよ！

ふ～ん そうなのか…

次回は、仕事の相談や探し方について教えてね！！





## 那須三斗小屋ハイキング



早起きする日は、決まって目覚まし時計より早く目が覚めます。5人がころんに集合して、那須の山を目指しましたが、山に登らなければという義務感と山頂ではきっと素晴らしいだろうなという期待感が、黙々と歩く静寂の中にずっと続きました。三斗小屋に着くと、早速お風呂に入りましたが、自然の恵みが体中をリラックスさせてくれました。帰り際に、3～4歳位の子供がラクラクと山下りをしていたのには



大変感動しました。下山してから、父の日のプレゼントを買うために皆でアチコチ店探しをして、最後はラーメン屋さんで夕食を食べた。三斗小屋温泉への登山は、苦しかったけれど終わってみたら気分と体中が爽快でした。

( 松本信夫 )

僕は、小学校の時に一度だけ両親と山登りに行っただけでした。今回、山登りに行くと聞いた時は、初心者と同じなので無理だと思いました。でも、実際に登ってみたら案外登れて自分でもビックリしました。山で焼肉をして食べたら美味しかったです。お風呂を楽しみにしていましたが、浴槽に虫が居てがっかりしました。今度行く時があったら又行きたいです。できれば、今度は混浴したいです。( H・S )



## 音楽のタベ 菊地章夫コンサート

7月24日(土)午後6時より、菊地章夫さん(元阿呆鳥のメンバーで石川町在住)をお招きしてころんコンサートを実施しました。菊地章夫さんの深く染み入る歌声に、約百名の参加者は、歌詞の情景に思いを馳せたり、過去の自分の姿を重ねながら心に深い感動を覚え、心豊かなひとときを過ごされていました。

### 参加者された方の感想より

- ・地域に合った良いコンサートでした。心癒されたひと時でした。
- ・テレビで聴いていて、いつも心地良く感じていました。すてきな時間ありがとうございました。
- ・日々のスケジュールに忙殺され、忘れがちだった『ころん』を思い出しました。FM時代から私の青春そのものです。恋の唱から人生哲学の唱になってきましたね。
- ・沢山のステキな歌と沢山の楽しく心温まるトーク最高でした。



## 白河関まつり



8月7日(土)白河関まつり(294まつり)にクレープ屋さんところんグッズを出店しました。

白河駅前のメインステージ近くに陣取り、二度の雷雨にも負けず、利用者・スタッフ・ボランティア全員が汗だく・大声で大張り切りし、他では販売していない(?)・食べられない(?)珍しいミートソースクレープがとても好評でした。ころんとして、お祭りへの出店は初めてのチャレンジでしたが、予定数を売り上げることができホッと一安心。久しぶりに、心地良い汗と疲れが感じられたひとときでした。



## ご寄付・寄贈をいただいた方

(敬称省略・順不同)

寄附金 糸井勝美 石下恭子 熊田芳江 渡辺礼子  
寄贈品 泉崎村立第1小学校 鈴木英哉



## 新しく会員になられた方

### 正会員

根本 昌道 小林 淑江 椎根 保則 杉田 龍郎 富永 三保 治部 春巳 金子 繁夫  
竹内由美子 鈴木 義勝

## お知らせ

○ 年度当初に申請しておりました(財)福島県総合社会福祉基金の施設整備助成について、8月末に交付決定が通知され、カーテン工事と防犯センサーの整備ができることになりました。

## お願い

○ 会員の方で、お知り合いの会員の方に住所等変更をされている方をご存知でしたら、誠にお手数でも「こころん」までご連絡下さい。

## 活 動 報 告

6月26日 メンバーミーティング  
6月27日 きょうされん学習会  
7月 6日 スリランカカレー教室  
7月 8日 健康教室  
7月20日 料理教室(棚倉町栄養士)  
7月24日 こころん音楽の夕べ  
(菊地章夫コンサート)  
7月31日 メンバーミーティング  
8月 9日 理事会  
8月18日 ヨガ教室  
8月21日 県民運動推進会議  
(うつくしま夢の語り部)  
8月23日 こころん花火大会  
8月24日 防災訓練  
8月25日 第1回家族教室(県南保健福祉事務所との共催)  
8月26日 医療相談(関先生)  
8月28日 メンバーミーティング  
9月 4日 生活支援センター連絡会  
9月15日 第2回家族教室  
9月16日 精神障がい者を支えるための勉強会(講師:有賀先生)  
16~18日 パワーアップセミナー  
9月20日 奥の細道ウォーキング  
9月25日 メンバーミーティング

## ❖今後の予定❖

10月 3日 オープンハウス祭り  
10月 8日 視察研修(蔵王方面)  
10月15日 第3回家族教室  
10月18日 ぼんだいの集い  
~ 19日 〃  
10月22日 こころん音楽の夕べ  
(吉田徳明コンサート)  
10月27日 ヨガ教室  
10月28日 医療相談(石下先生)  
10月30日 メンバーミーティング  
11月 2日 いも煮会(料理教室)  
11月 6日 泉崎村文化祭  
~ 7日 〃 福祉まつり  
11月 9日 料理教室  
11月11日 健康教室  
11月20日 第1回こころんまつり  
11月24日 家族教室

◇ メンバーミーティングについて  
毎週第4土曜日に実施していましたメンバーミーティングに加え、9月から毎週火曜日午後ミニ・メンバーミーティングが始まりました。

## 編 集 後 記

この夏の異常気象なのか、台風や熊の出没の多さなどが少し気になります。  
人は昔、自然に対して畏敬の念を持ち、自然を暮らしの中に受け入れ共に生きてきたような気がします。最近の各被害の多さは、人間の自然に対して畏敬の念を忘れていた啓示だと感じます。専門家でないので技術的なことは解りませんが、川を例にすると、川が氾濫するからと強固で直線的な力で抑え込むという考え方に限界を迎えている気がいたします。川の氾濫があることを前提に、目の前の川だけにとらわれず、川の源(山)を考える、川の流れの勢いを分散するというような、多方面・長期的視点に基づく総合的な考え方、知識ではない「先人達の知恵」というもの大切さを改めて見つめ直す必要が求められているような気がいたします。(三村)